

編集後記

プラズマ・核融合学会の論文等
はオンラインで読むこともでき、
その手段が多様で学生の頃から現在まで大変お世話になっ
ております。これまで多くの論文からプラズマが広範囲な
領域に広がりをもつことが故に多様性をもつことが示され
ているように思いますが、同時に普遍性をもっているとい
うことが垣間見え、それが私にとってプラズマを魅力的に
感じさせていることであるとおつくづく感じています。

最近の社会生活の中でも、これまで以上に多様性という
言葉が頻発しているように思います。混沌とした複雑性を
含む社会だからこそ多様性がひとつのキーワードとして取
り上げられるのは、プラズマ研究に取り組んできた身とし
ては自然な流れのようにも感じます。そして、その社会に
も時代や場所を超えた普遍性を感じることもあり、これも
またプラズマと通じるように思っています。……とここま
で書いてみて自分なりに満足していましたが、これまでの
編集後記を読み返してみると、既に多くの方々が同様なこ
とに言及されていることを知りました。編集委員会活動は
まさにプラズマと社会の両側面をもつように思っています

が、こういった活動を通すとより一層強くそれらに多様性
と普遍性を感じるのかもしれない。

その編集委員会での活動、特に企画記事などに対する議
論は非常に活発でいつも大変刺激を受けています。一方
で、編集委員着任前は毎月名古屋で編集委員の方々と顔を
合わせることを楽しみにしていましたが、その着任前後で
生活様式が相転移のごとく一変しました。その中で最近に
なり学会や研究会等ではオンラインだけではなく、現地開
催も含めたハイブリッド開催もあると聞いています。

オンライン化も進み新しい生活様式が定着しつつあり、
新しい点が発芽しつつあるように思いますが、新しい生活
様式に加えて、従来活動も穏やかに再開していくことによ
り、それらが淘汰ではなく本当に多様化したことになるか
と思っています。こういった多様化する社会生活を通して、
プラズマなどの研究にもさらなる多様性が見いだせれ
ば、それは興味深いです。そういう意味でも対面活動など
も少しずつ緩やかに再開されることを願いながら、筆をお
きます。
(近藤康太郎)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長：竹入康彦
副 会 長：安藤 晃（推薦委員長：学会賞，研究部会連絡会委員長） 米田仁紀（推薦委員長：研究助成，男女共同参画委員長）
常務理事：市口勝治（総務委員長）
理 事：荒巻光利（編集委員長） 出射 浩 大勢持光一（財務委員長） 金子俊郎（企画委員長）
木戸修一 兒玉了祐 小西哲之 白藤 立
花田鷹砂也 林 伸彦（広報委員長） 藤田隆明 横峯健彦
渡邊隆行（企業展示検討委員長，支部・地区研究連絡委員長） 和田 元（年会運営委員長）
監 事：前田達志，立松芳典

プラズマ・核融合学会 領域長

プラズマ基礎 荒巻光利(日大) プラズマ応用 渡邊隆行(九大) 核融合プラズマ 藤田隆明(名大) プラズマ炉工学 小西哲之(京大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：荒巻光利(日大) 副委員長：出射 浩(九大)
エディタ：古閑一憲(九大)，比村治彦(京都工繊大)，波多野雄治(富山大)，重森啓介(阪大)，藤田隆明(名大)，村上定義(京大)
編集委員：安倍勇輝(阪大)，諫山翔伍(九大)，板垣宏知(産総研)，井戸 毅(九大)，上野一磨(中京大)，占部継一郎(京大)，
枝尾祐希(量研)，呉 準席(大阪市大)，大谷芳明(量研)，加藤雄人(東北大)，河村学思(核融合研)，小林政弘(核融合
研)，近藤康太郎(量研)，佐久間一行(弓削商船高専)，佐藤直木(東大)，柴田崇統(高エネ研)，鈴木陽香(名大)，
辻井直人(東大)，中村浩隆(阪大)，畑 昌育(量研)，藤原 大(NTT)，前山伸也(名大)，水口直紀(核融合研)，
向井啓祐(京大)，本村大成(産総研)，森高外征雄(核融合研)，矢嶋美幸(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第98巻第2号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2022年(令和4年)2月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: http://www.jspfor.jp/ 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。